

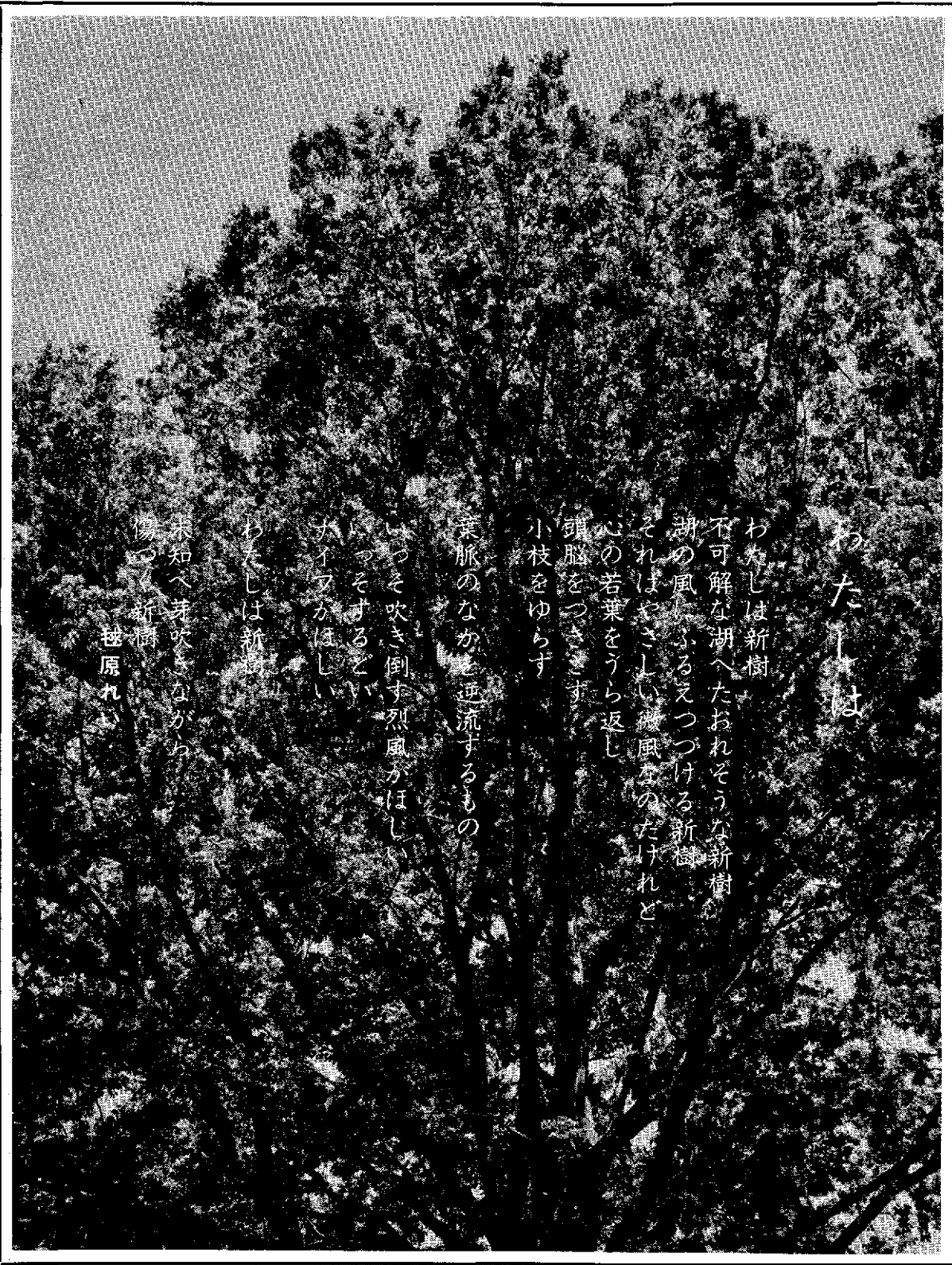
新潟県 公民館月報

昭和41年5月号(通刊第159号)

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市学校町一・県庁本館社会教育課分室内】
【電話・(新潟)(23)5511 内線691】
【振替 新潟 4094】

発行人 会長 古津 勝栄
編集人 事務局長 本田 清

昭和41年5月15日発行(毎月1回15日発行)
【定価1部18円千共・年後216円】



わたしは

わたしは新樹

不可解な湖へたおれそう新樹

湖の風 ふるえつつける新樹

それはやさしい微風をのだけれど

心の若葉をうら返し

頭脳をつきさす

小枝をゆらす

葉脈のなかを逆流するもの

いつそ吹き倒す烈風がほしい

いつそするどい

大牙アかほしい

わたしは新樹

未知へ芽吹きながら

傷つて新樹

越原れ

第一回評議員会



(右から三人目土肥新課長・第一回評議員会にて)

新年度事業、負担金、予算きめる

県公民館大会実施要項も了承

本会の昭和四十一年度事業計画、一般負担金および特別負担金、一般歳入歳出予算など審議する第一回評議員会が、さる五月十日新潟市柳水閣で開かれたが、それぞれ原案どおり議決された。出席者は吉澤会長以下二十三名。なお席上、県社会教育課新課長土肥博氏の就任のあいさつがあった。当日のおもな議定事項は次のとおり。

①昭和四十一年度県公連事業計画案議定について(別項のとおり原案どおり議決された)

②昭和四十一年度県公連一般負担金ならびに特別負担金案議定について(別項のとおり原案どおり議決された)

③昭和四十一年度県公連歳入歳出予算案議定について(原案どおり議決された。その概要は次のとおり)

歳入の部
負担金二百三十六万一千二百円
補助金七十七万 繰越金三万円

雑収入三万八千円、計三百三十二万九千二百円。

歳出の部
事務費八十七万七千円、事業費二百七十七万一千八百円、負担金七万三千五百円、償還金五千円、予備費一千八百円、計三百三十二万九千二百円。

④昭和四十一年度県公民館大会について(大会企画委員会、理事會を経て立案された大会要項案を了承した。詳細は別紙同封の「新潟県公民館大会要項」参照)

人事往来

(順不同、敬称略)

転任

市島仙三(前新潟市教委社教課長) 新潟市五十公野中学校長
山田順吉(前新潟市公民館長) 田浦遺職
遠藤利信(前新潟市公民館長) 新潟市役所庶務課長
補佐
花野長次郎(前中条町公民館長) 下越清掃センター長
石山与五栄門(前巻町公民館長)

着任

館主(兼) 巻町商工観光課係長
山本一庵(前相川町公民館主事) 相川町役場厚生課
関博(前大和町公民館長) 大和町商工観光課長
宮村 隼 新潟市公民館長
小田島英隆 南魚大和町公民館長

昭和41年度 県公連一般負担金

(新潟県統計課昭和41年度国勢調査結果概要人口数により算定) 人口割70% 平均割30% 総額70万 人口割1円以上99円まで切りあげ

郡市名	人口	平均割	人口割	総額	郡市名	人口	平均割	人口割	総額
新潟市	356,302	6,000	72,800	78,800	両津市	26,494	6,000	5,500	11,500
長岡市	154,752	6,300	31,700	37,700	白根市	33,887	6,000	7,000	13,000
高田市	73,668	6,000	15,100	21,100	北蒲原郡	157,638	6,000	32,200	38,200
三条市	74,080	6,000	15,200	21,200	中蒲原郡	64,209	6,000	13,200	19,200
柏崎市	71,465	6,000	14,600	20,600	西蒲原郡	127,699	6,000	26,100	32,100
新潟市	73,992	6,000	15,200	21,200	南蒲原郡	47,612	6,000	9,800	15,800
新津市	56,594	6,000	11,600	17,600	東蒲原郡	29,212	6,000	6,000	12,000
小千谷市	47,376	6,000	9,700	15,700	三島郡	66,864	6,000	13,700	19,700
加茂市	38,937	6,000	8,000	14,000	北魚沼郡	62,255	6,000	12,800	18,800
十日町市	49,576	6,000	10,200	16,200	南魚沼郡	74,713	6,000	15,300	21,300
見附市	43,968	6,000	8,400	14,400	中魚沼郡	38,342	6,000	7,900	13,900
村上市	32,651	6,000	6,700	12,700	刈羽郡	48,511	6,000	10,000	16,000
燕市	40,134	6,000	8,200	14,200	東頸城郡	48,341	6,000	9,900	15,900
直江津市	45,650	6,000	9,400	15,400	中頸城郡	90,063	6,000	18,400	24,400
栃尾市	36,013	6,000	7,400	13,400	西頸城郡	39,464	6,000	8,100	14,100
糸魚川市	39,332	6,000	8,100	14,100	岩船郡	65,253	6,000	13,400	19,400
新井市	32,334	6,000	6,100	12,100	佐渡郡	76,429	6,000	15,700	21,700
五泉市	48,113	6,000	7,800	13,800	計	2,398,923	210,000	491,200	701,200

昭和41年度県公連特別負担金、従来1部15円のところ3円値上げし、1部18円とする。

昭和41年度県公連事業計画

月	事業名	事業内容	月	事業名	事業内容
4月	理事会 (1) 評議員会 (1) 主事会常任幹事会 (1) 主事会幹事会 (1)	第14半期事業検討 当初予算 年間事業計画審議 年間方針の検討 年間計画	10月	主事会常任幹事会 (2) 主事会幹事会 (2) 理事会 (4) 全国公民館大会	下半期事業検討 下半期計画 第34半期事業検討 山形県山形市 10月12日～14日
5月	県教委との懇談会 (1) 理事会 (2)	上半期事業計画打ちあわせ 第24半期事業検討	11月	理事会 (5) 評議員会 (3) 県教委との懇談会 (2)	予算更正, 新年度予算計画 追加予算 分担金等審議 新年度の方針 当年度残余計画打ちあわせ
6月	理事, 主事会常幹合同会議 (3) 編集委員会 (1)	中間反省, 後半計画 反省 下半期計画	12月	全公連予算増額運動参加	
7月	県公民館大会	南魚沼沢町 7月8, 9日	1月	知事との懇談会	新年度事業に対する要望等
8月	監事会 (1) 評議員会 (2)	前年度会計監査 前年度決算審議	2月	編集委員会 (2) 理事会 (6)	反省, 新年度上半期計画 新年度予算と事業の骨格樹立
9月	関東甲信越静岡公連大会	長野県	3月	理事, 主事会常幹合同会議 (7)	新年度予算事業具体計画

月別未定の事業

1. 連絡協議
 - 全公連総会 2回
 - 全公連事務局長会議 1回
 - 関公連協議会 2回
 - 社教関係団体協議会 1回
2. 研修会 講習会
 - 全公連主事研修会
 - 全公連地区別研究協議会
 - 教育庁各事務所および各上中下越公連主催の研究講習会共催
 - 各郡市公連大会共催
 - 各郡市公連主催の研修会講習会共催
 - 上中下越地区公民館長研修会共催
 - 上中下越地区主事研修会共催
 - 公民館職員長期講習協賛
3. 懇談会
 - 市長会との懇談会
 - 町村会との懇談会
 - 社教関連行政機関との懇談会
4. 県教委との共同事業
 - 市町村公民館施設々備整備
- 奨励
 - 県公民館運営研究会
 - 5. 資料発行
 - 県公民館月報発行
 - 諸資料記録作成
 - 社会教育関係優良図書等紹介あつせん
 - 月刊公民館発行事務に協力
 - 6. 協力事業
 1. 社会教育関係事業全般
 2. 新生活運動
 3. 明るく正しい選挙推進運動
 4. 貯蓄推進運動
 5. 健民運動
 6. 交通安全運動
 7. 緑化推進運動
 8. 献血運動
 9. 行政監察相談
 10. 環境衛生推進運動
 11. こどもを水から守る運動
 12. 安全会議
 13. 愛の献金運動
 14. 県広報協会事業
 15. 社会福祉大会
 16. 各種週間運動全般

県公民館大会日程きまる

記念講演に前南極越冬隊長を予定

ことしの県公民館大会は七月八日(金)七月九日(土)南魚沼郡湯沢町立湯沢中学校(第一日)湯沢町公民館(第二日)で開かれることになったが日程は次のとおり。

第一日は午前十一時から受付、十二時三十分開会式、午後一時三十分百知事講演二時～五時部会討議

第二日は午前九時から部会報告、十時から前南極観測越冬隊長村山雅美氏の記念講演、十一時三十分郷土芸能紹介、十二時閉会式の順で開かれる。

なお終了後の午後一時～二時三十分同会場で主事会総会が開かれることになっている。多数の参加が期待されている。

施設の体制を整備

県社会教育課長

土肥博



新任にあたって

長嶋副課長の後をうけ、県立六や社会の交動によって大きな影響をこうむっている青少年を効果的に

当面する本県社会教育の課題は十月にひかえた第 同視聴覚教育合同全国大会(新潟大会)を顕頭に、まことに重かつたであります。

に学習集団の中に編成していく問題、婦人学級の近代化を促進する問題、両親教育二十年体制の推進を中核とする本県家庭教育振興の問題など、これをとりあげてみるも苦難の壁が眼前に立ちはたかっております。

文化財行政も、絶滅が繁殖かという岐路に立つ国際保護鳥トキの問題、新潟開港百年祭を迎えた懸案の新潟開港問題などをはしめとして、新しい時代に適応する文化財行政のこれからの歩みをきめる多くの課題が呈示されています。

加設関係では、また充分市町村の皆様の活動を円滑なしめるための準備が確立されてはいませんが、さびしい、歴代課長の御努力で本県社会教育の体制は次第に整備されつつあり、その成果をいかにが、人間の生涯にわたる教育を實現していく使命をゆつくり考えながら責務を果たしていく所存でございます。

前課長に委ねられたと同様の御協力を心から祈りして新任のあいさつといたします。

現場での体験生かしたい

県社会教育主事

中野 滋



この県社会教育課にまいりまして、施設教育担当をすることになり、特にみなさま方のお世話になることになりました。よろしくお願ひいたします。

(十月に本県で開催されます「視聴覚教育合同全国大会」の総合事務局で、しばらくは大企業事務に専念することになっております。)

職後間もない昭和二十二年、初めて小学校の先生として北魚沼に赴任いたしました。「小学校という遊の中だけで子どもの教育はできないのではないかと、任意気

な考え方をしておりました。そして「部落に幼児の遊んでいるような建物がある。この家を学校帰りの子どもたちも立ち寄り、ブランチ、砂場や広場で遊び、室内で本を読み、夕方、それぞれの家に帰って行く。夜になると、夕金を終えた部落の人々が三五五で

の家に集まってくる。ある人々は、図書館で読書し、またある人々は、奥室までレコードに耳を傾けている。二階では、青年団の会議が始まる。時には、みんなでこれからの村のことについて熱心に語り合い、また時には、にややかな笑いもある楽しいひと時を過ごして夜半、あすの仕事に精出す高菜を交して家路につく。私も、こんな仲間になつて過す。そんな家があつたらすばらしいなあと、夢をもつておりました。今で言へば、私設公民館とでも言えるのでしょ

うか。このことは、まさに夢で終りそうですが、今、公民館に關係のある仕事に精出すことのできることであるとあります。南浦大面と申す公民館と村上公民館主事としてのわすかな経験を感じ出しながら務めたいと思っております。(施設問題、部落公民館の位置づけなど)むずかしい問題が多く横たわっておりますが、何か、公民館発足当時の純粋な立場にたち帰って考え

- 趣旨
次代をなす青少年が心身ともにたくやかに成長することは、すべてのおとこの願ひである。
- 健全な青少年育成のためには、家庭の果たす役割がきわめて大きいことから、健全な家庭づくり、好ましい親子関係の確立等愛情と信頼に結ばれた人間関係を育てる契機とするため、昭和四十一年一月一日から毎月第三日曜日を「家庭の日」と定め、その趣旨普及をはかってくるものである。
- 応募資格
県内在住人に限る。
- 応募方法
1. 作文
四〇〇字以内原稿用紙五枚以内にて書き、
「親子」の下に、児童生徒は、
郡市、学校、学年、氏名を明記する。
〔注〕一般は感想文、体験文等とし、住所、職業、学年、氏名を明記すること。
- 写真
四切判(二四、五×三〇、五cm)
- 図画
四つ切り判(30×51cm)
裏の右がわに、たて書きで、郡市、学校、学年、氏名を明記すること。
〔注〕一般の応募は除く。
- 写真
品には補作することがある。
- 送る先
新潟市学校町通一番町
新潟県民生部青少年対策室まで
- 選定方法
審査委員会を設けて選定する
- 入選発表
昭和四十一年八月二十三日(火)の県報に告示するほか、入選者に通知する。
- 表彰
それぞれ門ごとに優秀賞、一賞、のほかに、入賞一八名に、新潟県知事賞として賞状ならびに記念品を贈る。
- 入賞作
品には補作することがある。

家庭の日に関する作文・図画・写真募集

下記用紙に記入のうえ、写真の裏に添付し、ネガフィルムを同封すること。
(4) 作文、図画、写真ともに未発表のものに限る。

昭和四十一年七月三〇日(土)正午必着

(5) しめきり

(6) 送る先
新潟市学校町通一番町
新潟県民生部青少年対策室まで

(7) 選定方法
審査委員会を設けて選定する

(8) 入選発表
昭和四十一年八月二十三日(火)の県報に告示するほか、入選者に通知する。

4. 表彰
それぞれ門ごとに優秀賞、一賞、のほかに、入賞一八名に、新潟県知事賞として賞状ならびに記念品を贈る。

(注) 入賞作品には補作することがある。

記入欄

氏名	() 才
住所	カヌラ
カメラ	レンズ
説明	撮影機、ター、フィルム、ター、スピード

15cm

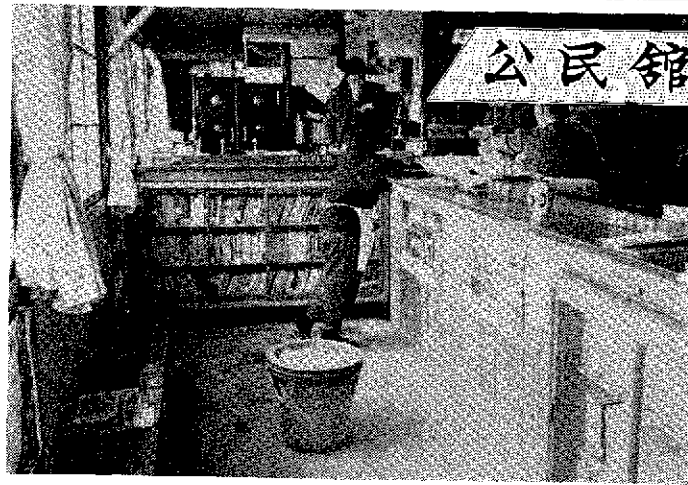
公民館ひろいある記

畑野町松ヶ崎公民館の巻

地域に密着した欠くべからざるもの

バックに小笠原山脈、嵐の多い波打ちぎわの道路に添って百廿余りの村落がかたまつて並み、風化して木目を浮き上らせている軒並のなかに、海を真向にいた松ヶ崎支所と、そこに併設された畑野町松ヶ崎公民館があった。

地域の末端で、しなから行なわれているところからは、行政が未分、その行政施設を併設されている公民館は、地域行政施行の潤滑



〔支所のなかに図書室の一角がとけあっている一松ヶ崎公民館〕

油的役割を果しながら、地域文化の精神的寄りどころにもなっている。したがって、このような公民館は、勤王主事たちの人柄は、その地域に大きな影響を与えずにはいられないのである。ゆえに地域の公民館を語る場合、施設よりも何よりも、まず職員を語らなければならないと思う。

松ヶ崎公民館は、畑野公民館とともに畑野町に併設された公民館の一つである。四十一年度予算が畑野公民館一〇万円に対し、松ヶ崎公民館は前年同額の四万九千円と少ないが、その使途をみると随処に工夫が目立つ。たとえば、地区の運動会を開くについて、職員は各家庭から一品ずつ持ち寄りの寄付でまかなう。また各種資料に用いる写真、あるいは各種何事の記念写真など、すべて羽豆主事が、公民館でDPE一切を引き受けている。というくあいた。

松ヶ崎地区は支所所在地から敷キロも離れた山奥にくつつかの部落が点在しているが、そこに住む婦人たちが、まるごと種々の公民館までやってくる。たまには夜の十一時過ぎまでも行事が続くことがあるが、最後まで居残り、また一時間もかかって部落へ帰っている。公民館の存在が生活に根を下している感じである。こんな地域にこそ、輸送用を兼ねた移動公民館の一台も全額補助をしても設置してやりたいと心から思っている。

(本田記)

青年が地域にいない。いるよ。うたけれど出稼ぎに出たりして居る所がなつきりしない。いては居るが下宿型青年でつかまえてくれない。館を吹いても鑑をたたくても、いつかこのつてきてはくれない。一方青少年の健全育成だ、非行防止だ、社会的に気合もかかってくる。じつとしておれないような気もする。だが現実の壁はそう簡単に打破れない。問題はむしろ難しい。職員の手は足りない。社会教育の範囲は広い。ほかにやわらばならない仕事はいくらもある。青年教育担当者はいくら容易でないことがわかります。

そこで誰もが考えることは何か。いい方法はないのか。特効薬のような打つ手はないかと、本を眺めたり、他の市町村の状況をしたりする。だが他の市町村でやっていることをそのまま自分の市町村でやっても、同じく成功するとはままたたものでもない。たいていの担当者が一応も二応も手を打つのであるが、それだけでうまくいかないのが問題があるのだ。

青年教育の特効薬はないか

北原 克二

先ず根本的の問題として青年たちが生きる将来の市町村の青年写真と考へていくが先決問題ではないだろうか。将来が、町がどういう方向に行くのだからそこに住む青年たちはどうなるかがよる。この青年たちは

青年が多都市に生活すると思わうたけれど出稼ぎに出たりして居る所がなつきりしない。いては居るが下宿型青年でつかまえてくれない。館を吹いても鑑をたたくても、いつかこのつてきてはくれない。一方青少年の健全育成だ、非行防止だ、社会的に気合もかかってくる。じつとしておれないような気もする。だが現実の壁はそう簡単に打破れない。問題はむしろ難しい。職員の手は足りない。社会教育の範囲は広い。ほかにやわらばならない仕事はいくらもある。青年教育担当者はいくら容易でないことがわかります。

そこで誰もが考えることは何か。いい方法はないのか。特効薬のような打つ手はないかと、本を眺めたり、他の市町村の状況をしたりする。だが他の市町村でやっていることをそのまま自分の市町村でやっても、同じく成功するとはままたたものでもない。たいていの担当者が一応も二応も手を打つのであるが、それだけでうまくいかないのが問題があるのだ。

先ず根本的の問題として青年たちが生きる将来の市町村の青年写真と考へていくが先決問題ではないだろうか。将来が、町がどういう方向に行くのだからそこに住む青年たちはどうなるかがよる。この青年たちは

青年の意識が多種多様であること、青年たちが吸収するには二つの施策もつたものでないか。 (県社会教育主事)

変ぼうする社会と辺地の生活

平場ではわからないきびしさ

佐渡の松ヶ崎地区で学んだこと

早稲田 竜

海浜は風が強る帰省者らしい人々と私のからく、白波が立ってだをゆり動かした。
 いた。百トン定りはしげに乗り移り、松ヶ崎港へずの船は丸は、大上陸したのは正午過ぎ、新潟港をきくローリングを出航してから四時間ほどたつてい繰り返し、そのた。なまなま打木松ヶ崎支所へびに、うす暗い客羽豆公民館主事が出迎えてくたき室にかたまっていた。



【海を前にした松ヶ崎支所、同公民館】

一度乗ってみる価値
 この朝、新潟港では、佐渡島開きの観光客を、こぼれればかりの大盛りめしのように積み込んだ運船が、観光ルートの両津港へ向つて汽笛を鳴らしていた。私の乗つた小さな船は、小佐渡に点在する小さな港と新潟を結んで、二日毎に一往復している貨客船で、光とは縁がうすい存在であった。だが、佐渡を知るには、一度は乗

あきない鬼太鼓

つてみる必要がある。そして小佐渡の一角の小さい村々を尋ねてみることにする。
 島崎と軌を一にして、ここでも素朴なお祭り行事が繰り返り行われていた。念願の鬼太鼓も見ることができ、カメラに記録できた。だが、例にもれず若者が不足で、高校生中学生在演舞の中心になっているのであった。観光ルートか

らとされているこの村々の鬼太鼓は、観光用のその、飛び上ったり、みえを切ったりする鬼とは異なり、うごきが太鼓に乗ってリズムカルであり、見ているとあきさせないよさがあった。
 山の四軒部落へ
 その夜、打木さんの友人である多田部落の自転車屋さんの軽四輪に乗せられて、こづばいのある曲りくねった山道を打木宅に向つた支所のある多田部落から約四十分。暗い峠の麓の道に降りた。送つてくださった自転車屋の御主人に礼をい、灯一見えな



【新田部落と麓の多田部落の間にある自転車置場、ここからは歩いて新田へ登る】

途中ややこしいのはゆるい地形から、は自転車に乗りつき、雨の日も風の日も支所まで通勤している。私の登ってきた自動車の通る道は、一日に一往復、畑野木町に通じている唯一の県道であるが、通勤には昔からの相道を往き来した方が早いという。高校生、中学生、小学生の御子息も同様、このけわしい山道を毎日まで通学しているわけである。ある日の朝私は、打木さんの通勤している相道を麓までくたつてみた。平場育ちの人間では容易に登り降りできないくらい急坂がつづいていて、ひきか

ががくくど鳴った。
 街灯一つない谷深い山の、この細道。打木さんは仕事の都合で、ときには真夜中一時過ぎに懐中電灯ももたずに帰宅することがよくあるという。一長年のカンで道と崖との境は、空気の密度がちがうので、谷に落ちたりはしませんと笑いながらおっしゃった。公民館主事時代は、毎晩のように部落から部落へと重い映像機などかついで飛び回っていたわけだから、その様子が、私なりに理解できた。

まいとするために、山利のいわゆる辺地の人たちが、いかに苦勞し努力しているか、おぼつけないからわかる気がした。
 たくましい男だがあたたかい。無口だが深さがある。打木さんのあのねほり強さの根柢は、この風土によって培われたのだという。こともうたずけるものがあった。私は、ここに、わずか二日間の見聞ではあったが、変ぼうする現代を生き抜く日本人の生活の一つの典型を見た気がした。
 (木六事務局長)

山の上の田畑は小さな段々となつていて、耕すには平場の田

畑とはケタ違いの努力がかかる。平場で、二戸の経営がなつたという最低耕作面積の二ヘクタールを耕すには、耕転機も入りにくいので一家総出で年中中心身をすりへらさずな努力がいるという。打木家では、奥さんを中心に一ヘクタールほどの田畑を耕作している。この、いわゆる兼業農家である。経済的には水準を保つていられるわけだが、打木家以外の三軒の人の生活は、思ひをめぐらしてみると、私はこのような幾多の山村の現状が、なまやさしいものでないということが想像できた。

変ぼうする社会に、とり残され

(木六事務局長)

読者コーナー



ガンの展示物はいかが

山北町公民館

元ガン研隊長で今はなま田崎勇三博士が中心となり、脱走新聞社と、西武百貨店の協賛を得て当時百万円の製作費をもつて作った「ガン」の展示物一八〇点(小型自動車一台)があります。医学の進歩したという昨今でも

成人式に贈る館長のことば

長尾 義正

西洋の絵は画面全部を塗りつぶす、東洋の絵は必ず余白(余白)もある、という。ただ今からを鑑み、東洋人の考え方が成人になった諸君を諸君ならしめるの出發点から異なる。何も書いぬ、成功せしめるてない余白のところ、そこにという余白の大地は諸君の郷土こそ眼に見えない大きな余白(和村)である。昔賢にひそんであながひそむ、絵を絵たらしめずたを護る郷土の余白に答えてほしいを字たらしめてゐるのは、絵、そい(三和村公民館長)

なんでもやってみよう

山本 一磨

長い間ずい分とお世話になりました。この道はまたと得難い貴重な社会教育活動においての、住民のいろいろな要求や、問題点を、ひいては任務を負われた。一般行政事務にたずさわれるものは特殊な責任をもち、ごく普通の職員ならば、実務と経験にのみ事務処理を行なうことが可能である。

社会教育的人間とは

加藤 幹夫

「社会教育に適した人間」といわれることがあるが、この言葉はむしろ、住民の考えのなかに「私の要求した」と形は変わったが「社会教育(公民館活動)とは、このようなものだろう」といふ概念

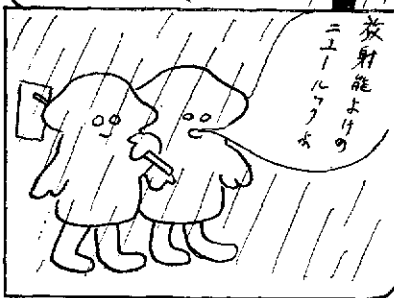
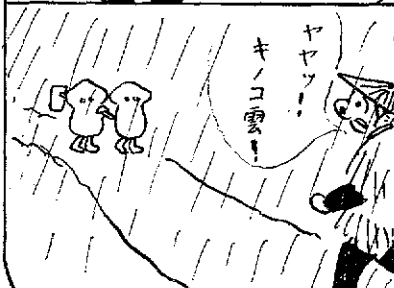
本紙一月号を読んで

杉原 清二

本年四月一日、再度一般事務が職員員の資格の規定等、公民館から教育委員会出向、公民館主事としての種々多々の問題が曲り角に米つた。これらのことは、しばしば関係会議で、または運営審議委員会の席上等でも幾度か強く指摘し提議してきたものである。だが担当者

お茶っぴい子

17. 榴 頃 期 (中国 枝 検 験) うつき、かす



社会教育における公民館主事の立場、地域の表に即しての企画立案、事業進行の段取りとなるまですば、構想を練ることだけでも数カ月過ぎたのがせいぜい、いはいと思ふのである。ちよらこのように、公民館月報一頁のページに自分がとったそのなかで二三年の経験ではありまじいかな、という記事を読み、まさしく同感だと思つたのである。他の記事の中で、市町村公民館の人事交流、公

(高田公民館主事)

い「こんな気持ちで、毎日頑張ります。お願ひの申し上げます。 (相川町役場厚生課 前相川町公民館主事)

を補う付けたことしたら。住民、一人一人の生活の向上に役立つのが、社会教育活動だとするならば、社会教育的人間といわれる、さきから錚々たるような考え方の職員から脱け出し、雲の如く、微風にも柔順にその姿を変え得る柔軟性と、道徳をも履く尽す実行力とを兼ね備えた社会教育界の無い職員とある必要があると思ふがどうか。

(佐渡郡金井町公民館主事)



転任にあたって

公民館を思う

遠藤利信

このたびの異動で、市長部局へ中に公民館をどう位置づけし中に...

限り公民館の発展は期せられない。数々の思い出は公民館ならではの...

やりがいのあつた公民館

公民館を去ることが公民館と一切縁が切れるわけはありませぬ。他の部局でも公民館の趣旨は...

近県の優良公民館

埼玉県の巻

- 足立町志水公民館 北足立郡足立町大字志水二五〇二 東上線志村日野六六 秩父線日野駅 ①施設設備

心界 浅間 勝衛

旅と酒の歌人牧水はこう歌いかけた。そのしものでもやりがいがあるものでした。仕事はもちろ...

寄贈あがり

私たちの広 (津南町) 松ヶ崎公民館だより 場 (自治会連) 広報おまつ (直江津市) 安塚...

あとがき

このたびの知事選には、いろいろのことを考えさせられてまいりました。しかし、とにかく...

- 日高町高麗公民館 入間郡日高町大字梅原二の二 西武線高麗駅 ①高麗川 〇五〇 ①施設設備

本紙四月号から新設した一読者コーナーへの、お気懸な御寄稿をお待ちいたしております。